

# 全国 保健所長会 だより

テーマは「ライフステージに合わせた健康づくりを目指して」

第74回日本公衆衛生学会総会が、平成27年11月4日(水)から6日(金)まで長崎ブリックホール(長崎市)を主会場として開催されます。長崎県は72の有人島と5つの半島から成る入り組んだ地形と多彩な歴史をもつ魅力あふれる地域です。

最近のトピックとしては、今年7月ドイツで開催された世界遺産委員会において、長崎県の8資産を含む「明治日本の産業革命遺産」が、世界文化遺産として登録されました。日本の近代化は、非西洋地域において、最初でかつきわめて短期間のうちに飛躍的に発展を

# 第74回 日本公衆衛生学会 総会のご案内

長崎県南保健所長 長谷川麻衣子

遂げたという点で世界的にも特筆すべきものといわれています。九州・山口を中心とする近代化産業遺産群は、鉄鋼・造船・石炭工業の重工業部門に西洋技術導入のプロセスを証明する遺産群として他に類を見ない、また非西洋地域において近代化の先駆けをなした経済大国日本の原点として語り継いでいくうえで、きわめて重要な遺産群となっています。

総会の開催地である長崎市内に端島炭鉱(通称「軍艦島」)や旧グラバー邸など見学可能な遺産があります。また、ほかにも長崎のキリスト教信仰の歴史を伝える「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」も世界遺産登録候補となっています。ぜひこの総会にご参加の機会

に足を運んでいただければと思います。かつて日本で唯一海外に開かれ、さまざまな人や文化が導入され、和(日本)、華(中国)、蘭(オランダ)、ポルトガルなどの西洋との交流の中で生まれた、和・華・蘭(わからん)料理の集大成「卓袱料理」をはじめ、江戸時代から続く伝統料理「くじら料理」や「うなぎ料理」、多彩な鮮魚や新鮮な野菜など、長崎の食も楽しんでいただきたいと思えます。

また、長崎は西洋医学教育発祥の地でもあります。健康保護の意匠で広く使われている「衛生」という訳語を日本語として導入し、日本の近代の医療・衛生および福祉体制を確立した長与専斎は現長崎県大村市出身で、ポンペの下、長

崎で医学を学びました。

長崎県での公衆衛生学会総会開催は第46回総会からの28年ぶりとなり、学会長である長崎大学公衆衛生学教室の青柳潔教授を中心に、総会を円滑に運営すべく、関係機関・団体からなる実行委員会・学術部会において着々と準備が進められております。

今総会のメインテーマは「ライフステージに合わせた健康づくりを目指して」です。テーマ背景について、総会ホームページの学会長のごあいさつから紹介します。

「少子高齢化が進む中、子供から高齢者までのすべての世代における健康増進を進めていくことが重要です。母子保健、学校保健、壮年期からの生活習慣病対策、高齢

者における介護制度等、ライフステージを考慮した公衆衛生学の実践が必要とされています。壮年期死亡の減少、健康寿命の延伸と生活の質の向上を目的とし、21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21)が平成12年度に開始されました。平成25年度からは健康日本21(第2次)が進められ、あらゆる世代の健やかな暮らしを支える良好な社会環境を構築することにより、健康格差の縮小を目指すこととなりました。また、高齢者の健康に関して、運動器の障害によって、移動機能の低下をきたした状態であるロコモティブシンドロームの認知向上が目標となりま

した。乳幼児期から高齢期まで、それぞれのライフステージにおいて、心身機能の維持・向上につなげる対策について議論する総会となる」と意図されています。

プログラムの一部を紹介しますと、特別講演「近代医学の誕生―公衆衛生分野に力点をおいて―」  
「Important Contributions of Osteoporosis Epidemiology Studies」難解、ロコモティブシンドロームのほか、最近の公衆衛生施策のトピックスからなる12の教育講演、メインシンポジウムとして「放射線被ばくと健康影響―その知見と今後の課題―」ほか、公衆衛生の地域性と普遍性をクロ



バールな視点でディスカッションするシンポジウムなど、公衆衛生の歴史・現在・将来にわたるテーマで総会メインテーマをさらに盛り上げる内容になっていま

す。4日には、草野仁氏による招待講演が企画されています。公募シンポジウムには28のテーマが選ばれております。また、今回も昼の学会だけではなく、事前申込制の自由集会も併せて開催されますので、多職種参加の学際的な本学会の特徴を生かした活発な議論が展開され、新たなネットワークが広がることと思います。興味のあるテーマの自由集会にぜひ参加してみてください。

日本大震災では、放射性物質による環境汚染の発生や避難所生活が長期になったことで、災害発生後の公衆衛生対策の重要性が再認識されました。公衆衛生に携わる者にとっては、この経験をいかに知識とし今後の対策に反映するかということが責務とも言えます。大規模自然災害発生後に起きたさまざまな公衆衛生上の課題とそれらの対応について検証が進められる中、公衆衛生対策における広域支援・受援体制の不備という課題が浮き彫りになりました。

また、総会には託児もできます。お申し込みは、総会ホームページ(<http://www.c-linkage.co.jp/jsph74/index.html>)で確認ください。

## 全国保健所長会総会 開催のご案内

総会開催前日の3日(火・祝日)には、第72回全国保健所長会総会をJR長崎駅近くのホテルニュー長崎で開催します。具体的な協議事項・テーマについては、原稿執筆時点では未定ですが、今後の保健所長のあり方が協議事項のひとつになる予定と聞いております。また、平成23年3月に発生した東

現在、全国衛生部長会災害時保健医療活動標準化委員会で災害時健康危機管理支援チーム(Disaster Health Emergency Assistant Team)構想について検討が進められており、全国保健所長会においても総会の論点のひとつとなることと思われます。

保健所に期待される役割が多岐にわたる中、全国の保健所長が一堂に会し議論できる貴重な機会となりますので、ぜひ多数の保健所長のご参加をお待ちしております。